

コレクション 2000-2022

佐久市立近代美術館が2000年から2022年の間に収集した作品の中から、1960年以降に生まれた作家が2000年から現在にかけて制作した現代美術作品を紹介します。

1960年代は、日本の「美術」あるいは「芸術」という概念そのものが大きく変化した時代でした。この頃、芸術至上主義に代表される既成の形式を覆そうとする「反芸術」とよばれる前衛芸術が台頭し、視覚芸術の分野では形象やイメージを排した「抽象表現主義」が大流行しました。これらの動向は作家たちに大きな影響を与え、その後、多様な表現形式が生まれていきます。

本展で紹介する1960年以降に生まれた作家たちは、いわば、生まれながらにして「何事も表現となりうる自由」の下に育った世代といえるでしょう。本展は日本現代美術を展望するものではありませんが、これからの時代を担う彼らが、2000年以降の現代において何をみつめていたのかをコレクションを通して考えます。



1

会期中のイベント

「佐久市民の日」記念 無料開放

3月16日(土)・17日(日)

「展覧会ガイド」学芸員による作品解説*

3月16日(土) 14:00~(50分程度)

ワークショップ「地面にひそむ小さな星の標本づくり」

石や葉など身近な自然物の観察から生まれる星たちを標本にしてみよう。

要申込

3月23日(土) 14:00~(2時間程度)

[講師] 岩田とも子(アーティスト)

[対象] 小中学生 ※小学生は保護者の同伴も可

[定員] 15組

[参加費] 1セット500円(材料費等)

「絵をみておしゃべり鑑賞ツアー」* 要申込

作品を見て感じたことを、一緒におしゃべりしませんか?

5月4日(土)

1 こどもの回

[時間] 10:00~(50分程度)

[対象] 小学生以下とその保護者

[定員] 5組ほど



2 大人の回

[時間] 14:00~(50分程度)

[対象] 中学生から大人まで

[定員] 5人ほど

●*印のイベントは観覧料のみでご参加いただけます

●「要申込」のイベントは2月20日(火)9時から佐久市LINEおよび電話(0267-67-1055)で申込受付を行います(先着順)詳しくは美術館ホームページをご覧ください



2



3



4



5



6

- ① 袴田京太郎《Three Fathers》2007年
- ② 杉本奈奈重《繋ぐもの》2015年
- ③ 酒井恒太《Beautiful Loser》2009年
- ④ 山岡紀文《真夜中の君へ》2008年
- ⑤ 岩田とも子《山宇宙望遠鏡標本》2011年
- ⑥ 鎌田あや《Where there is #13
「いづれ、いづれあるところで……」》
2014年



同時開催 新・収蔵品展—令和4年度収蔵—

昭和58年に開館した当初、600点ほどであった佐久市立近代美術館のコレクションは、現在3400点を超えています。令和4年度には、新たに12作家・24点の作品を収蔵しました。本展では、この中から書14点、日本画2点、工芸2点の計18点の作品を紹介します。現代を生きる作家たちの、バラエティに富んだ作品群をお楽しみください。

■会期中のイベント

ワークショップ「オリジナルカレンダーをつくらう!」

[講師] 星弘道(書家)

[場所] 佐久市立近代美術館 視聴覚室

[参加費] 500円 [定員] 10人まで ※書道用具はご持参ください。

要申込

[開催日] 3月30日(土)

① [時間] 13:40~14:40 [対象] 小中学生

※小学生は保護者同伴も可。保護者も参加する場合は別途参加費が必要。

② [時間] 15:00~16:00 [対象] 高校生以上



星弘道《五輪》2019年

佐久市立近代美術館
油井一二記念館

SAKU Municipal
Museum
of Modern Art since1983

〒385-0011 長野県佐久市猿久保35-5(駒場公園内)
https://www.city.saku.nagano.jp/museum/

TEL.0267-67-1055 FAX.0267-67-1068

公共
交通機関

- JR北陸新幹線「佐久平駅」から
- タクシー約10分
- JR小海線へ乗り継ぎ「北中込駅」下車
徒歩15分

自動車

- 上信越自動車道「佐久IC」または
「佐久平スマートIC(ETC専用)」から約15分
- 中部横断自動車道
「佐久中佐都IC」から約10分

